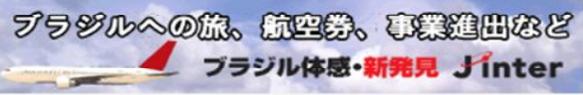


地球環境基金「VERSTA 平成 24 年度ジュサラ椰子 AF 推進プロジェクト形成事業」共同プロジェクト現地報道  
8 月 2 日 (木) サンパウロ新聞電子版

# サンパウロ新聞

Jornal São Paulo Shimbun



ブラジルへの旅、航空券、事業進出など  
ブラジル体感・新発見 J'inter

ニュース 移民104周年特集 特集 コラム 会社概要 広告 お問合せ 採用情報 サイト内

総合トップ 日系社会 国内 経済 環境・科学 スポーツ 新刊紹介 暮れ人 おくやみ

## 大西洋岸林再生活動 NPO法人「VERSTA」

12/08/02 (11:22)

### セッテ・パラスの小農支援へ

アグロフォレストリー（森林農業）支援活動を目的に2010年に設立されたNPO法人「VERSTA」（東京都）がこのほど、伯国の大西洋岸林（マッタ・アトランチカ）再生活動の一環として、聖州セッテ・パラス市のジュサラ椰子生産者の小農自立支援を行うことになった。同法人の小野瀬由一専務理事、山田祐彰東京農工大学講師、山添源二聖州森林院元総裁（現・JICA留学生OB会会長）らが来社し、その取り組みなどについて説明した。



来社した小野瀬氏（右端）たち

同支援計画は、VERSTAが日本の環境庁外部団体である「地球環境基金」の助成金（初年度は160万円）を受けて実施。伯国の持続可能な小農自立支援などに詳しい山田講師や山添氏の提案協力を得て、セッテ・パラス管内のリオ・プレット村（約100家族）のジュサラ椰子生産農家が対象となる。

同計画には聖州政府をはじめ、森林相団、カンピーナス農事試験場や地元セッテ・パラス市などの専門家も協力し、「最低でも8年間の計画として支援していく」（小野瀬専務理事）考えた。

小野瀬専務理事は当初、日本の外務省にアマゾンの熱帯雨林再生支援について相談したところ、「樹を植えるだけでは再生は間に合わない」とJICAや山田講師を紹介され、山田講師たちから実現可能性のあるマッタ・アトランチカでのアグロフォレストリーを通じた小農支援の提案を受けたという。

具体的な動きはこれからだが、小野瀬専務理事は今回の来伯で地元生産者と話し合い、アグロフォレストリーとして今後コーヒーやバナナなどの生産物をジュサラ椰子と混植していくことなど意見交換を行っている。

ジュサラ椰子は米調査機関の成分分析により、老化を遅らせる血液抗酸化作用があるとし、小野瀬専務理事は「日本やアジアの高齢化に向けて、将来的にはジュサラ椰子の輸出を行うことができれば」との思いを持っている。

その一方で山田講師は「サンパウロは（アマゾンに比べて）人材が豊富だが、問題は現地の人たちがどう考えていくか、最初の数年で収入を出しながらやっていかないと続かない」と指摘する。

山添氏は同計画により「マッタ・アトランチカがアグロフォレストリーによって再生することができれば」と期待しているが、実現していくかどうかは地元生産者の意識と周りのサポート体制にかかってきそうだ。

2012年8月2日付

いいね! 1 Tweet 共有: Facebook Twitter Email Print

戻る

### 日付/時刻

2012/08/13  
14:50 (São Paulo)  
2012/08/14  
02:50 (Tóquio)

São Paulo  
SP - 09 - 13:08 - Tempo Real

25°C

Predomínio de sol, apenas com pouca variação de nuvens

Solha Mais + Assista!

06h36 17h45

28°C 12°C

30% 0 mm